

受検番号

| |
|--|
| |
|--|

令和4年度専攻科入学試験学力検査問題（前期）

専門科目【生産情報システム工学専攻】③（電子情報系）

注意事項

1. 検査開始の合図まで、この問題（解答）用紙を開いてはいけません。
2. 問題冊子の総枚数はこの表紙を含め5枚です。
3. 問題は、下表のように分けられています。

| 検査科目 | 必須・選択の区別 |
|---|-----------------------|
| ・電子工学(電気・電子回路、論理回路) ・情報工学(プログラミング(C言語)、コンピューターアーキテクチャ) | 必須科目です。2科目全て解答してください。 |

4. 落丁、乱丁及び印刷不鮮明の箇所等があれば、直ちに申し出てください。
5. 問題冊子の所定の箇所に受検番号を記入してください。
6. 解答は、問題（解答）用紙の所定の欄に記入してください。
7. 問題（解答）用紙の総得点欄、小計欄及び得点欄には記入しないでください。
8. 検査開始後、20分は退室を許可しません。

受検番号

| |
|--|
| |
|--|

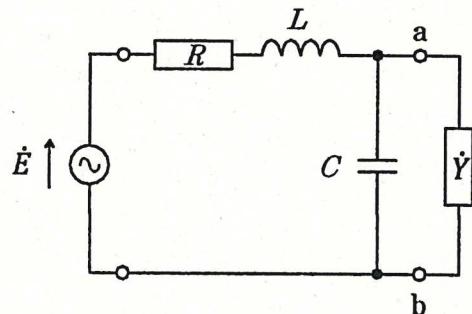
令和4年度専攻科入学試験学力検査問題（前期）

【生産情報システム工学専攻】③（電子情報系）「電子工学」（1／2）

| |
|-----|
| 総得点 |
|-----|

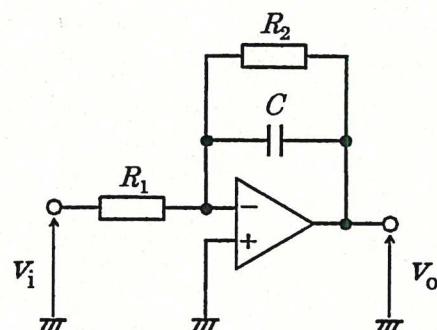
| |
|----|
| 小計 |
|----|

- 1 図のような抵抗 R 、インダクタンス L 、キャパシタンス C 、アドミタンス \dot{Y} および交流電源 \dot{E} からなる回路がある。 \dot{Y} に生じる電圧 \dot{V} をノートンの定理より求めなさい。ただし、交流の角周波数は ω であるものとする。（25点）



| |
|----|
| 得点 |
|----|

- 2 図の回路について以下の間に答えなさい。ただし、演算増幅器の特性は理想的とする。（25点）

(1) 電圧増幅度 V_o/V_i を求めなさい。（15点）

| |
|----|
| 得点 |
|----|

- (2) この回路の周波数 f と電圧増幅度の関係を以下のグラフに描き説明しなさい。（10点）

$|V_o/V_i|$ ↑
(説明)

| |
|----|
| 得点 |
|----|

 f

| |
|--|
| |
| |
| |

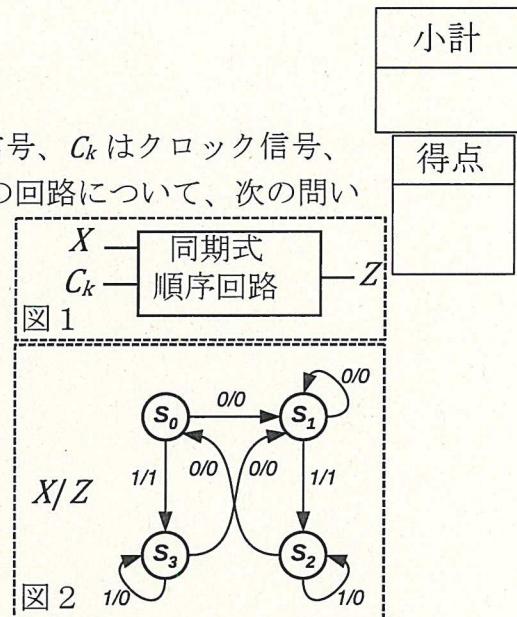
令和4年度専攻科入学試験学力検査問題（前期）

【生産情報システム工学専攻】③（電子情報系）「電子工学」（2／2）

3 次の各問に答えなさい。（50点）

- (1) 図1は同期式順序回路のブロック図です。この図において、 X は入力信号、 C_k はクロック信号、 Z は出力信号とします。また、図2はこの回路の状態遷移図です。この回路について、次の問に答えなさい。（26点）

フリップフロップはD-FF（ポジティブエッジトリガ動作）を使用するものとして設計しなさい。ただし、設計についての解答は「状態割当てをした状態遷移表」の作表、「各FFの入力 D_i のカルノ一図と出力 Z のカルノ一図」と、設計結果として「各FFの入力 D_i の論理関数と出力 Z の論理関数」を記すだけでよいものとします。ここで、入力 D_i の添え字 i は、各FFを区別するための0から始まる整数です。同様に各FFの出力は Q_i とします。必要なFFの個数は2個とします。

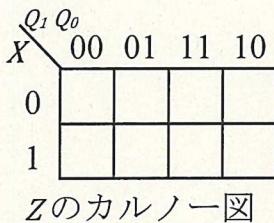
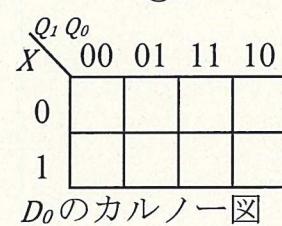


①状態割当てをした状態遷移表（8点）

| Q_1 | Q_0 | X | D_1 | D_0 | Z |
|-------|-------|-----|-------|-------|-----|
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |
| | | | | | |

| |
|---|
| 点 |
| |

②カルノ一図（9点）



D0のカルノ一図

Zのカルノ一図

| |
|---|
| 点 |
| |

③各FFの入力 D_i と出力 Z の論理関数（9点）

$$D_0 =$$

$$D_1 =$$

$$Z =$$

| |
|---|
| 点 |
| |

- (2) 次の論理関数を加法標準形に変換しなさい。（8点）

$$f(a, b, c) = (a + b) \cdot (\bar{a} + c)$$

解答欄 $f(a, b, c) =$

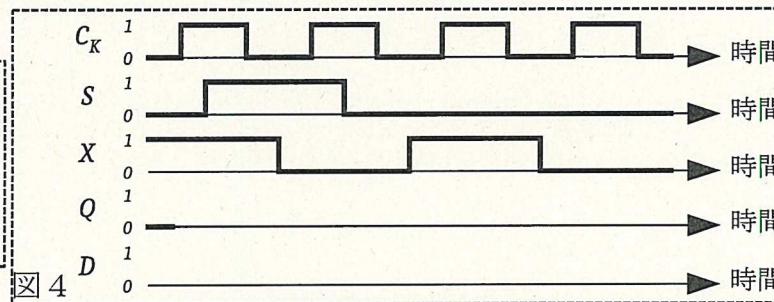
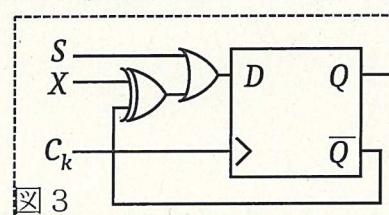
| |
|----|
| 得点 |
| |

- (3) 下記の符号なし2進数を8進数と16進数、10進数に変換しなさい。（8点）

| 解答欄 | 2進数 | 8進数（2点） | 16進数（2点） | 10進数（4点） |
|-----|------------------------|---------|----------|----------|
| | 11011.101 ₂ | | | |

| |
|----|
| 得点 |
| |

- (4) 図3の順序回路の動作を示す図4のタイムチャートを完成しなさい。ただし、 Q の信号は0に初期化されています。



(8点)

| |
|----|
| 得点 |
| |

電子情報系-3

電子工学-2

| |
|--|
| |
|--|

令和4年度専攻科入学試験学力検査問題（前期）
【生産情報システム工学専攻】③（電子情報系）「情報工学」（1／2）

総得点

| |
|--|
| |
|--|

小計

| |
|--|
| |
|--|

1 次のC言語のソースプログラムの出力結果を解答欄に記入しなさい。 (10点×2=20点)

```
(1) 01: #include <stdio.h>
02: #include <stdlib.h>
03: int f(int, int);
04: int main(void)
05: {
06:     int a=15, b=4, c=27, d=7, e=11;
07:     printf("%d\n", f(a, f(b, f(c, f(d, e))))));
08:     return 0;
09: }
```

10: int f(int x, int y)
11: {
12: return (x+y-abs(x-y))/2;
13: }

※ abs 関数は、int型引数の絶対値を、
int型で返す関数です。

```
(2) 01: #include <stdio.h>
02: int main(void)
03: {
04:     int n=5, x=2, y, i;
05:     int a[]={6,5,4,3,2,1};
06:     y = a[n];
07:     for (i = n-1; i>=0; i--) {
08:         y = y*x + a[i];
09:     }
10:     printf("%d\n", y);
11:     return 0;
12: }
```

| | |
|-----|--|
| (1) | |
| (2) | |

得点

| |
|--|
| |
|--|

得点

2 次の問い合わせに答えなさい。 (30点)

フィボナッチ数列は、1, 1, 2, 3, 5, 8, 13, 21, …となる数列である。n番目のフィボナッチ数を x_n とすると、以下の通り定義できる。

$$x_1 = 1$$

$$x_2 = 1$$

$$x_n = x_{n-1} + x_{n-2} \quad (n \geq 3)$$

整数nを引数とし、n番目のフィボナッチ数(整数型)を返す関数fibonacciを作成しなさい。ただし、引数のnには1以上の値が入力されるものとして定義してよい。

※ 解答の例：浮動小数点数型のa, bを引数とし、aとbの和を戻り値とする関数sumは、以下のように解答します。

```
float sum(float a, float b)
{
    return a + b;
}
```

解答欄：

令和4年度専攻科入学試験学力検査問題（前期）

【生産情報システム工学専攻】③（電子情報系）「情報工学」（2／2）

小計

3 次の各問いに答えなさい。（26点）

(1) 下記の8ビット2進数について、加算結果を8ビットで表示しなさい。

また、下記の表でその結果に対応するフラグの状態（0または1）を示しなさい。（12点）

| 解答欄 | 01111010 ₂ + 10000110 ₂ |
|-----|--|
|-----|--|

| フラグ名 | フラグの状態 |
|--------------------------|--------|
| キャリー・フラグ (CF) | |
| 2の補数表現でのオーバーフロー・フラグ (OF) | |
| ゼロ・フラグ (ZF) | |
| 符号・フラグ (SF) | |

得点

(2) 下の表の各命題について、正しい場合は「○」を、正しくない場合は「×」を解答に示しなさい。（6点）

| 命題 | 解答 | 命題 | 解答 |
|----------------------------------|----|--|----|
| HDDのヘッドはアームの先にある。 | | 分岐命令はプログラムカウンタの値を変更する。 | |
| DRAMは記憶データをコンデンサの電荷とする。 | | SRAMではリフレッシュが必要である。 | |
| ハーバード型アーキテクチャではファンノイマンボトルネックがある。 | | 機械語において、レジスタ・アドレッシングはメモリのデータを指定するアドレッシングである。 | |

得点

(3) 下の表の各記述に対応する用語を示しなさい。（8点）

| 記述 | 用語 | 記述 | 用語 |
|-----------|----|-----------------|----|
| 読み取り専用メモリ | | 命令の出力を指定するオペランド | |
| 命令を読み取る段階 | | 演算結果を記憶するレジスタ | |

得点

4 以下の文章の(A)～(L)に入る適切な語を【語群】より選び、記号で答えなさい。ただし、複数の解答欄に同じ選択肢は入らないものとします。（24点：2点×12）

コンピュータは、ソフトウェアによって様々な用途で使用することができる。例えば(A)として、ワープロ、表計算、図形処理、プレゼンテーション支援などが普及している。複数の(A)を見かけ上、同時に動作させる(B)処理は、OS（オペレーティングシステム）の持つ機能の一部である。(B)処理では、異なる(A)を正しく切り替えて動作させる特別なプログラムが必要となり、このプログラムは、ユーザモードとは異なる(C)と呼ばれる特権モードで実行する必要がある。(C)で動作する各種の特別なプログラムが集まっており、OSの核となる構成を(D)と呼ぶ。

CPUが(E)に格納されているプログラムを実行する際に、OS内で管理する単位を(F)と呼ぶ。複数の(F)を効率よく実行するために、各(F)の状態を把握し管理する機能が必要となる。この管理機能を持つ処理として、(F)の生成と消去、実行する(F)の切り替え、(F)の(G)、複数(F)の同期、(F)の保護などがある。

実行中の処理を一度停止して、他の処理を行った後に再開する機能を(H)という。(H)は、内部(H)と外部(H)に分類することができる。内部(H)は、プログラム中で明示的であるトラップと暗黙的である(I)がある。トラップは、ユーザプログラムからOSを呼び出して制御を行う(J)などがある。外部(H)は、入出力装置からの動作完了信号や、(K)からの一定時間経過信号などによって発生する。

コンピュータ内で扱われるデータの集まりは(L)と呼ばれ、通常は補助記憶装置上に作成される。(H)に対しては、データの読み取りや書き込み処理が行われる。

【語群】(a) アプリケーションソフトウェア、(b) サブルーチン、(c) アーキテクチャ、(d) リアルタイム、(e) 排他、(f) マルチタスク、(g) セキュアモード、(h) スーパーバイザモード、(i) ハイバーバイザ、(j) カーネル、(k) CPU、(l) メモリ、(m) コンテナ、(n) プロセス、(o) バブル、(p) スケジューリング、(q) デッドロック、(r) 割込み、(s) 例外、(t) スーパーバイザコール（システムコール）、(u) ハードウェアタイマ、(v) ポーリング、(w) デイジーチェーン、(x) ファイル、(y) ディレクトリ、(z) ルート

| 解答欄 | (A) | (B) | (C) | (D) | (E) | (F) | 得点 |
|-----|-----|-----|-----|-----|-----|-----|----|
| | (G) | (H) | (I) | (J) | (K) | (L) | |